

ふくいのかき

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2015年6月4日 No.107

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

Let's clean the coast!

第19回 海岸 クリーンアップ 参加者募集

① 9月5日(土) 9:00~10:00
鷹巣海水浴場

② 9月12日(土) 9:00~10:00
三国サンセットビーチ

持ち物 ゴミ袋は事務局で用意します。
その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・
火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止する場合があります。
その際には連絡いたしますので、申し込み時に
連絡先(電話番号)をお聞きます。

※行事保険に(事務局負担で)加入します。

会員生協ボランティア活動 支援助成のご案内

福井県生協連合会加盟生協のボランティア活動を支援します。

対象期間:2015年4月1日より2016年3月31日までの期間の活動を対象とします。

① 一般ボランティア活動部門

〈助成金額〉 1生協5万円を上限として、総額15万
円の予算内で行います。

〈申請締め切り〉 2015年6月30日(火)

〈申請対象となる活動分野〉

*福祉…身体障害・知的障害・精神障害者、難病・長
期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かに
するなどの活動

*環境…自然保護、環境保全、リサイクル活動や環
境保全に関する啓発などの活動

*教育…子どもの健全育成、子育て支援などの活動

*国際協力…留学生・研修生などの外国籍市民との交
流、途上国への協力などの活動

*その他…県連理事会で承認されたボランティア活動

② 東日本大震災復興支援活動(交流活動含む)部門

〈助成金額〉 1生協5万円を上限として、総額15万
円の予算内で行います。

〈申請締め切り〉 予算額に到達次第

〈申請対象となる活動分野〉

東日本大震災復興支援活動(地元避難者支援、現地復興
支援、復興支援交流活動など)を支援します。

問い合わせ先

それぞれの会員生協窓口、
または福井県生協連合会窓口まで。

2014年度

福井県内生協における ボランティア活動のまとめ

生協名	種 類	活 動 日	取 り 組 み 内 容
県庁生協	震災支援	通 年	東日本大震災への募金活動（各売店レジ前にて）
	福 祉	通 年	収集（収集箱を設置。使用済み切手）
	環 境	9月6日・13日	第18回海岸クリーンアップボランティア参加
学校生協	福 祉	通 年	収集（使用済み切手・コイン・はがき等）
		9月6日・13日	第18回海岸クリーンアップボランティア 参加人数：職員4名 作業内容：海岸清掃
大学生協	福 祉	通 年	収集（収集箱を設置。使用済み切手・コイン等）
		6月27日	アルコールパッチテスト
		11月28日	福大健康祭（健康診断相談、アルパチ、ストレスチェック、食生活相談）
	国際協力	月 1 回	留学生とのお話会
	交通安全	6月20日	交通安全の日（自転車無料点検）
菅浜生協	環 境	月1回金曜日	キャンパス清掃
		4月13日	農改センターの清掃とごきぶり団子作り
		5月31日	公園・神社の清掃・草刈
		6月13日	生協前花壇植栽活動
		7月15日～8月16日	夏季浜掃除（延べ56名）
	福 祉	7月27日	河川草刈り・清掃（約100名）
		9月25日	公園草刈り清掃（約90名）
		11月19日	健康チェック
	教 育	5月23日～24日	炭焼き体験（神奈川大和中学）
		7月24日	菅浜小・丹生小・新庄小 炭焼き体験
県民生協	福 祉	通 年	収集（収集箱を設置。使用済み切手・コイン等）
		通 年	エコキャップ収集（店舗に収集ボックス設置）
	環 境	6・10・2月	生活困窮者への食料支援（福井県社会福祉協議会の要請を受けて）
		9月6日・13日	第18回海岸クリーンアップボランティア参加
		6月20日～22日	震災復興支援ボランティア活動 若手県陸前高田市内。組合員・職員28名参加。いわて生協との協同で、公園・ガーデンの除草作業。NPOの代表から震災当時の話と現状の復興視察、交流ができました。
		通 年	被災地手作り商品の購入とイベントでの販売支援継続
		7月28日・29日	県連と共催で福島スタディツアーを実施
		7～8月	福島の子どもリフレッシュ事業に取り組むNPO団体へ食料提供支援
		10月10日～12日	宮城・岩手スタディツアー （宮城震災資料館、田老町漁協視察、陸前高田視察）
		12月	福島の子どもリフレッシュ事業に取り組むNPO団体・市民団体等へ食料提供支援
		3月7日	あの日のことを忘れない 東日本大震災支援企画（第1地区） 陸前高田語り部釘子氏講演会、田老町漁協「復興と真崎わかめ」報告、復興商品販売と真崎わかめ、非常食の展示・試食を開催。組合員・職員170名参加。
		3月8日	「復興を願うつどい」として、福井、丹南の2会場に被災地商品販売などで参加。
		6月19日	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会より、福井県ボランティア応援企業団体認証特別賞を受賞。
	その他		

生協名	種 類	活 動 日	取 り 組 み 内 容
医療生協	福 祉	通 年	健康チェック 問診・健康相談・血管年齢測定・骨密度測定など （会場：ハーツさばえ・つるが・はるえ・学園・たけふ店、Aコープ、イーザ、ユース、公民館、学校など）
		通 年	赤いリボン活動 町内会役員さんと連携（毎日赤いリボンで安否確認）
		通 年	ひとり暮らし高齢者訪問 地区内のひとり暮らし高齢者宅への訪問対話
		通 年	昼食・温泉・お出かけ 高齢のみなさんと介護予防・昼食・温泉・お出かけ
		通 年	収集（収集箱を設置。使用済み切手・ペットボトルキャップ・コイン等）
労生協	環 境	9月6日	食品中の放射能物質を測定する機器の購入と、東日本大震災被災地復興のための募金活動。
			第18回海岸クリーンアップボランティア参加
福井県生協連合会	震災支援	5月	「福井県消費者総合フォーラム・交流展」において東日本応援商品の即売を行い、売り上げ全額を東日本大震災復興支援として「つながろうCO・OPアクションくらし応援募金」に募金。
		7月	福島で見聞きたことを、会員生協での「被災地を忘れない、伝える」取り組みに役立てていただくことを目的に、役職員研修の一環として「福島スタディツアー」を実施。
	福 祉	11～2月	「生協ボランティア月間」として会員生協に収集ボックスを配付し使用済み切手などを収集。また他団体や一般県民にもホームページなどで参加を呼びかけ、収集ボランティア活動を推進。収集物は福井県社会福祉協議会や福祉団体を通じて福祉活動に役立てられた。
	福 祉 環 境 他	8月	会員生協のボランティア活動支援として、4生協（福祉活動2、地域活動2）に助成。
	環 境	9月	第18回海岸クリーンアップボランティアを2会場（鷹巣9/6・三国9/13）で実施し、331名が参加。一般県民だけでなく、福井市野球連盟学童部や企業・団体の社会貢献・ボランティア活動として取り組めるものとして定着。

3.11 を忘れない

～被災地のいま～

苦しみの声をあげない生活困窮者

みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

震災で貧困層が拡大した。そんな話をよく聞きます。
最近行われた調査（※）では、被災した2,338世帯のうち年収200万円未満（課税前）の低所得家庭が震災後6.2%増加し、全体の約3割を占めていました。低賃金で家計を支えるシングルマザーやぎりぎりまで生活費を切り詰める高齢者など、弱い境遇にある人ほど状況は深刻です。
東松島市くらし安心サポートセンター（東松島市社会福祉協議会）の阿部誠さんは、昨年、生活困窮者支援モデル事業に取り組む中で、「義援金でやり繰りしてきたが使い果たしてしまった」「精神的に落ち込んで仕事を再開できない」など、生活困窮に直面している人たちに向き合ってきました。しかし一方で、「震災による生活困窮者の全体像が見えてこない」とも感じています。
同センター所長の千葉貴弘さんは、「生活が苦しい」と自ら手をあげる人が少ないことに気がきました。「災害公営住宅への転居費用は一時本人が負担し、その後補助を受けるのですが、当座の6、7万円のお金が用意できない方がいました。被災者サポートセンターの職員が気付いて対応できましたが…」。

辛いや苦しさを抱えたまま声をあげずにいると、誰かが気付かない限り、支援の網の目からこぼれ落ちてしまう可能性があります。「そうした潜在的な困窮者がいることを、頭に入れておかないといけない」と千葉さんは言います。
「仮設住宅の場合、家賃がないことが生活困窮者の存在をより見えにくくしている」と、阿部さんは指摘します。東松島市の災害公営住宅では、すでに家賃の滞納があるとの話もあり、今後の行方を気にします。
生活再建の道を着実に歩む人と、生きるのが精一杯の人の差がどんどん開いていく被災地。一人ひとりの事情を踏まえ、自立のための支援を続けることが求められています。

※「被災地・子ども教育調査-2014年」
（公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン）

2015年4月から施行された「生活困窮者支援法」に合わせ、新たに5人体制で臨む東松島市くらし安心サポートセンター。生活困窮者の家計や就労などの自立相談にあたる。左から阿部誠さん、千葉貴弘所長、櫻田千里さん。



創立
40th
The 40th anniversary in establishment

福井県生活協同組合連合会
創立40周年記念事業
(公社)ふくい・くらしの研究所
総会記念事業



前消費者庁長官
あ なる ひさ
阿南 久氏

(一社)消費者市民社会をつくる会
日本生活協同組合連合会
消費者活動アドバイザー
理事長

消費者教育フォーラム

みんな

つくり、動かそう

消費者市民社会

消費者教育推進法が施行され、各地で消費者教育推進に向けた取り組みが進められています。講演やパネルディスカッションを通して、「みんなでつくり動かす消費者市民社会」とはどのような社会か、そのために教育や地域活動をどのようにしていったらよいかを探ります。



2015年**7月4日(土)**
13:00~15:40 (開場12:30)

福井県国際交流会館
多目的ホール

[参加対象] 一般県民、教育関係者

参加費
無料

1 講演 阿南 久氏(前 消費者庁長官) 13:00~

『消費者市民社会って、
どんな社会?』

2 パネルディスカッション 13:50~

『消費者市民社会をつくる
教育や地域の取り組み』

◆実践報告

- ①福岡知子 中学校教諭「食品の選択(仮)」
- ②塚倉知美 高等学校教諭
「消費者の視点から身近な品を検証する(仮)」
- ③公益社団法人ふくい・くらしの研究所
「地域でのくらしの講座(仮)」
- ④消費者教育推進会議委員
(福井弁護士会消費者問題対策委員会元委員長)
島田広氏 「全国の消費者教育の動き(仮)」

◆パネルディスカッション

- ・コーディネーター…荒井紀子氏
(福井大学 教育地域科学部 特命教授)
- ・コメンテーター……阿南 久氏(前 消費者庁長官)
- ・パネリスト…実践報告者

主催 公益社団法人 ふくい・くらしの研究所、福井県生活協同組合連合会、福井県学校生活協同組合、福井大学生活協同組合、福井県民生活協同組合
共催 福井弁護士会、福井県中学校技術・家庭科研究会 後援 福井県、福井県教育委員会、福井市、福井市教育委員会、福井新聞社、FBC

問い合わせ
申し込み先

福井県生協連合会事務局 または
県民せいきょうコールセンター
TEL: ☎0120-016-165

(公社)ふくい・くらしの研究所

TEL:0776-52-0626 FAX:0776-52-0660
HP: <http://www.kuranavi.jp/>
Mail: info@kuranavi.jp